

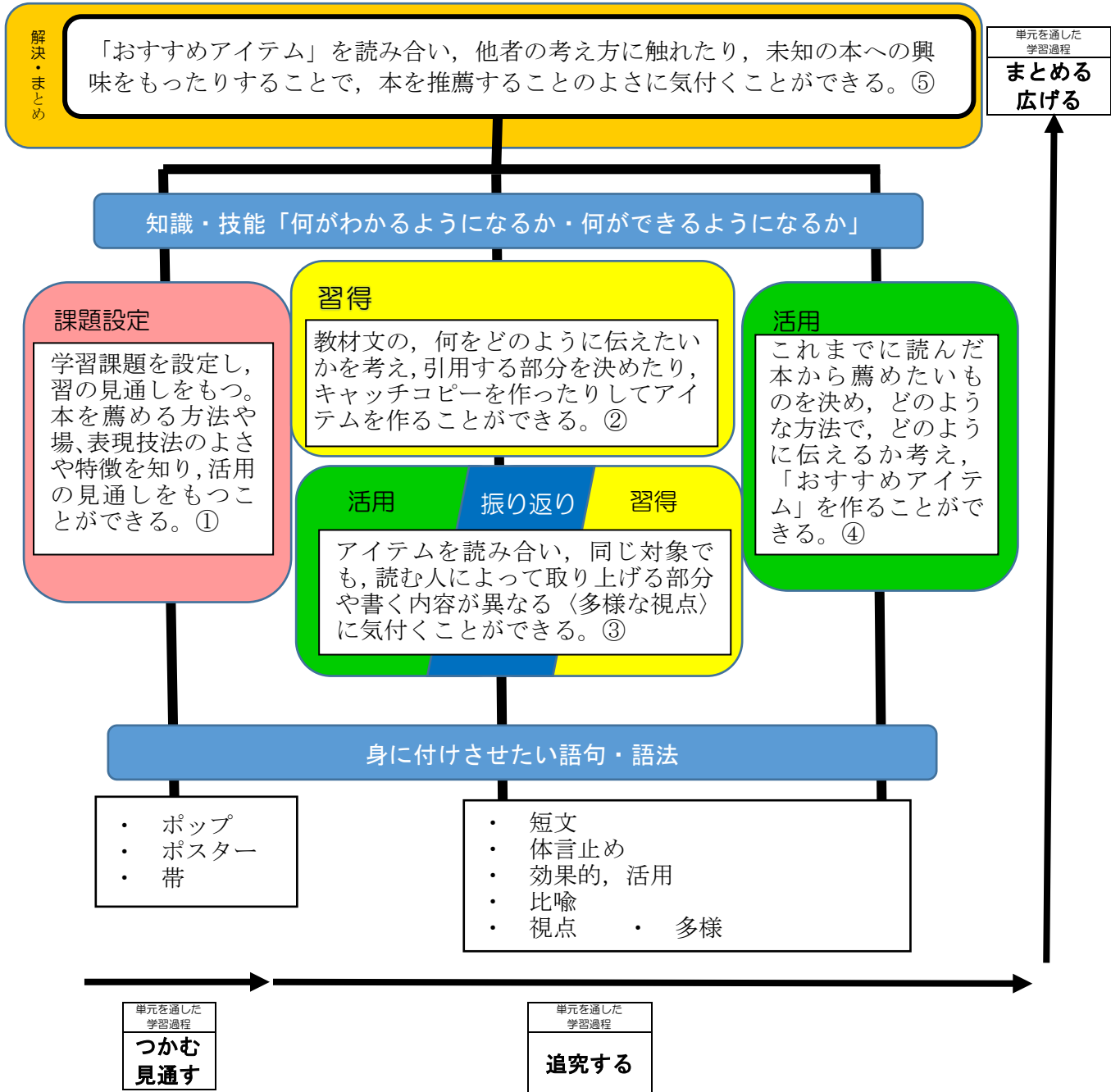
| 学年 | 教科 | 単元名 | 児童 | 場所 | 指導者 |
|----|----|------|---------|--------|-------|
| 5年 | 国語 | 本は友達 | 5年1組38名 | 5年1組教室 | 石塚 泰鑑 |

1 単元について

単元マップ

子供の深い
学びの姿

読書によって多様な視点から物事を考えることができるようになることに
気づき、進んで読書をし、思いや考えを広げ深めようとする。



本単元で育てたい資質・能力

【知識・技能】

- 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付くこと。

【思考力・判断力・表現力等】

- 文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめること。
- 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。

【学びに向かう力、人間性等】

- 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうという態度を養うこと。

単元・題材について

C オ、カ 言語活動例 イ

オは、3、4学年を受けて、「文章を読んで自分の考えをまとめる」ことを示している。5、6学年では、感想や考えをもつことに加え、それらをまとめることに重点を置いている。また、カは、意見や感想を共有することを通して、自分の考えを広げることに関与を置いている。

本単元では、本を読んで考えや感想をもち、それらをまとめたり、共有したりすることで、自分の考えが広がるという読書の楽しさや魅力を知り、日常の読書活動を充実させることをねらい、ポップや帯、ポスター等を作成し、本を推薦したり、推薦されたりする活動を設定する。

児童の実態

単元の目標

- 複数の本や文章を読んだ中から、薦めたい本を選ぶことができる。
- 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

単元の指導について

4年生までで、「いろいろな本や文章を選んで読む」という選書能力を身に付けているが、高学年では、「目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと」が指導事項となっている。「比べて読む」ことで、それぞれの本の魅力を味わったり、作者・筆者の違いによる視点・認識の違いに触れたりすることができ、更に読書の魅力を見付けることができる。

本単元では、本を薦めるため「アイテム」（ポスターやポップ、帯など）をつくって読み合い、本を推薦したり、推薦されたりすることのよさを知り、読書の魅力を実感させることをねらう。

「つかむ・見通す」段階では、学級及び全校の図書室利用状況が昨年度と比べ、微減していることを知らせ、更に多くの児童に本を読んでもらう方法を考える。「アイテム」を作ることを通して、『読書の魅力』を皆に伝えるという学習活動を設定するそうすることによって、『本を薦め合って、読書の新たな魅力を見付ける』という学習課題を把握し、「読書を通して、考えを広げ深めていく」というゴールイメージを見通すことができる。この段階では、『なまえ つけてよ』の単元で学習したことを想起させ、「より効果的なおすすめアイテムを知る」「おすすめポイントの見つけ方を考える」「おすすめの本を自分の決めた方法で推薦する」という学習過程の見通しももたせる。

「追究する」段階では、教材文『千年の釘にいどむ』を用いて、「その文章の、何をどのように伝えたいか」について考え、「引用」するところを見付けたり、「キャッチコピー」を作ったりして、アイテムを作る。その後、感想や気づきを交流することで、同じ対象でも、人によって、伝えたいことや引用したい箇所が異なることに触れ、『視点の多様さ』に気付かせる。そして、実際に自分の『おすすめの本』を、「引用文」「キャッチコピー」といった技を使いながら、あらためて、「より多くの児童に本を読んでもらうという『相手意識』『目的意識』」をもたせ、アイテムを作っていく。

「まとめる・広げる」段階では、作ったアイテムを読み合って、本を推薦することのよさに気付かせる。そうすることで、同じ本でも多様な視点に触れられたが、異なる本を対象とすることで、興味の幅が広がったり、読書活動を振り返ることで自身の考えの変容が実感できたりするという読書の魅力を理解することにつながる。

単元の評価規準

| 【関心・意欲・態度】 | 【知識・理解】 | 【思考力・判断力・表現力等】 |
|-------------------------|---|---|
| 本を友達に薦めるといふ活動に興味をもっている。 | 読書 | 読むこと |
| | 本を推薦したり、推薦された本を読んだりすることで、自分自身の読書生活がより豊かになることに気付く。 | ① 本を推薦する文章を書いて読み合うことを通して、自分の思いや考えを広げている。 ② 本を推薦するために、複数の本を読んだり、読んだ本の中から選んだりしている。 |

子供の深い学びの姿

読書によって多様な視点から物事を考えることができるようになることに気づき、進んで読書をし、思いや考えを広げ深めようとする。

| 段階 | 時 | ○ おもな学習活動 ・ 具体的内容 □ まとめ | 【 】 教師の評価規準 (評価方法) ◇ 指導の手立て ☆ 思考を活性化させるアクティブ化ポイント<用いる思考スキル> |
|---------|---|--|--|
| つかむ・見通す | ① | <p>○ 学習課題を決め、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の図書室の利用状況を知る。 ・ 学級全体の読書時間を知る。 ・ 読書に親しむため読書の魅力を知ろう。 <p>課題：本を薦め合って、読書の新たな魅力を見つけよう。</p> <p>○ 本の推薦方法 (アイテム) や本の紹介の場、技を知り、よさや特徴を見付ける。</p> <p><アイテム>ポスター, ポップ, 帯 <場>特設コーナー, ブックトーク <技>引用, キャッチコピー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 比較し, それぞれのよさを見付ける。 <p>目的・意図に合わせて, 方法や技を選んで, 本をおすすめする。</p> | <p>【関・意・態】 自分のおすすめの本をよりよく伝えようという意欲をもち, 学習計画を立てている。(話し合い, ノート)</p> <p>☆ 実体験を想起し, 交流させることで, 「読書」に意欲的に, 主体的に向かい, 学習のゴールの見通しをもつことにつながる。 【思A-②】<S⑧関連付ける></p> <p>【思・判・表等】② 本を薦める方法とその特徴, よさを見付けている。(発表・ノート)</p> <p>◇ 事前に作成した表を渡し, 枠に書き込めるようにする。</p> |
| 追究する | ② | <p>○ 推薦の仕方 (伝えたいこと, 表現の工夫) を確かめ, 教材文を推薦する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どんなことを伝えたいかや, 推薦するための言葉や文章の表現をどう工夫するとよいかを考えることが大切であることを知る。 ・ 「千年の釘にいどむ」の推薦の仕方を考え, アイテムを作る。 <p>『なまえつけてよ』でお話の紹介をした時の方法が使える。</p> <p>おすすめしたい部分や伝えたいことをはっきりさせて, 表現方法を考える。</p> | <p>【思・判・表等】② 「千年の釘にいどむ」の伝え方を考えて, 引用する部分を決めたり, キャッチコピーを作ったりしている。(ノート・発表)</p> <p>☆ 目指す作品づくりの前に, 教材文を使ってアイテム作りをすることで, 読書の視点を確認し, 後の活動の見通しをもつことができる。【思A-⑦⑩】<S③焦点化する></p> <p>◇ 引用できない, キャッチコピーが思いつかない場合, 聞き取りを行い, 心に残った部分や感想を話させる。</p> |
| 追究する | ③ | <p>○ 友達が作ったアイテムを読み, 同じ対象でも, 多様な見方があることに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 班で, おすすめアイテムを読み合う。 <p><読み合いの観点></p> <ul style="list-style-type: none"> * 引用部分 * 注目点 * キャッチコピーの内容 等 <p>・ 読み合って気付いたことを話し合う。</p> <p><話し合いの観点></p> <ul style="list-style-type: none"> * 引用部分の同異点 (引用の理由も) * 内容の比較 (注目点とその理由も) * 表現の仕方の違い 等 <p>・ それぞれのアイテムを, 注目したところによって仲間分けすることができることを知る。(視点による分類)</p> <p>同じ本でも, いろいろな視点から読むことができる。←本の魅力の1つ</p> | <p>【知・理】 作ったアイテムを読み合い, 視点の多様さに気付いている。(ノート・発表)</p> <p>☆ 観点を定めてアイテムを読ませることで, 同じ対象でも多様な視点で読むことができることに気付くことができる。 【思A-⑳】<S①多面的に見る></p> <p>◇ 読み比べた感想を一言メモさせる。</p> <p>『千年の釘にいどむ』は, 千年の前の建物のことや, 釘が木に刺さっていくシステムのことが書いてある。歴史のことや物理のことがいろいろわかる内容だ。社会や理学的な読み方もできそう。</p> |

| | | |
|---|---|--|
| | <p>④ ○ 推薦方法を決め、作品(おすすめアイテム)を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達がおすすめの本を読みたくなるように、引用する部分を考えたり、キャッチコピーを作ったりする。 ・ 推薦したい内容が相手に伝わりやすい形式を考え、おすすめアイテムを作る。 | <p>【思・判・表等】① 薦めたい本を決め、推薦の方法・表現を考えて、作品を作っている。 (作品・発表)</p> <p>◇ おすすめの本の好きなところを尋ね、それを基に考えるよう助言する。</p> |
| <p>本のよさを伝えるためには、読み手を意識して、技を使ったり、アイテムを工夫したりして、まとめるとよい。</p> | | |
| <p>まとめる・広げる</p> | <p>⑤ ○ アイテムを読み、「読みたい」と思った本を選び交流することで、読書の新たな魅力を見付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達のおすすめアイテムを読み合う。 ・ アイテムを読んで、読みたくなった本を決め、その理由を交流する。 ・ 本を推薦したり、これまで知らなかった本に触れたりする活動を通して、感じたよさをまとめる。 <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>・ 最初に考えていたこと以外にも、読書にはいくつもの魅力がある。もっと読書したい!</p> </div> | <p>【知・理】 作ったアイテムを読み合い、推薦することのよさに気付いている。 (ノート・発表)</p> <p>◇ 興味がありそうなアイテムを選んでやり、それを作った友達に質問させる。</p> <p>★ 「読書の新しい魅力を見付ける」というねらいと「多様な視点から読むことができる」という読書の魅力を再確認し、アイテムを読ませる。それによって、友達の考えに触れることで、自分の考えや思いを広げることができることに気付かせる。</p> <p>【思A-23】 <S16広げてみる></p> |
| <p>読書の魅力→多様な他者の考えに触れたり、自分の考えや思いを広げたりできること。</p> | | |

パフォーマンスシート～学習の目標と見通し～
学習課題【本をすすめて、読書の新たなみ力を見つけよう】

| 第5時 | 第4時 | 第3時 | 第2時 | 第1時 |
|---|--|--|---|---|
| 学習内容 | 学習内容 | 学習内容 | 学習内容 | 学習内容 |
| アイテムを読み合い、読書の新たな『みりょく』を見付ける。 | おすすめする方法を決め、『おすすめアイテム』を作る。 | 「千年の釘にいどむ」のおすすめアイテムを読み比べる。 | 『アイテム』『技』を使って、「千年の釘にいどむ」のすいせん文を書く。 | 学習計画を立て、本のすいせん方法のよさや特ちょうを見付ける。 |
| パフォーマンス | パフォーマンス | パフォーマンス | パフォーマンス | パフォーマンス |
| (L.V.1) アイテムを読んで、一言感想を書く。 (L.V.2) アイテムを読んで、すいせんすることのよさに気づく。 (L.V.3) 本をすいせんすることのよさに気づき、読書の新たなみ力を一つ見つける。 (L.V.4) 新たな知識や考えの変化に気づき、読書のみ力を一つ以上見つける。 | (L.V.1) おすすめする本のおすすめしたいところを書く。 (L.V.2) おすすめする方法を決め、『おすすめアイテム』を作る。 (L.V.3) おすすめのポイントをはきりさせて、読み手を意識して『おすすめアイテム』を作る。 (L.V.4) 自分の考えや思いの変容が伝わってくる『おすすめアイテム』を複数個作る。 | (L.V.1) アイテムを読み比べて、感想をもつ。 (L.V.2) アイテムを読み比べて、それぞれ同じところやちがうところがあることに気づく。 (L.V.3) 読み比べて、同じところやちがうところがあり、読む人によって見方がさまざまであることに気づく。 (L.V.4) 友達のような見方のちがいを知り、それにかかれて、自分の考えが広がったり、変わったりする。 | (L.V.1) 伝えたい部分をぬき出す。 (L.V.2) 文章のどういった点を伝えたいかを考え、文を書きとめたり、おすすめ文を作ったりする。 (L.V.3) 読み手を意識して『技』を使って、「千年の釘にいどむ」のみ力をまとめる。 (L.V.4) 『技』と『アイテム』を使って、「千年の釘にいどむ」のみをよくわかりやすくまとめる。 | (L.V.1) 本のすいせん方法がいくつもあることを知る。 (L.V.2) 学習の見通しを立て、アイテム、技などのよさや特ちょうを知る。 (L.V.3) 今後どんなことを学び、どんな活動をするかイメージし、自分の使えそうなアイテム、技の見通しを立てる。 (L.V.4) おすすめしたい本を決め、どんな方法でおすすめするかを具体的にイメージする。 |
| ふり返り | ふり返り | ふり返り | ふり返り | ふり返り |
| ----- | ----- | ----- | ----- | ----- |
| 振り返りの観点 変容 深化 広がり 発見 理解 できた！ 交流 伝え合い その他 () | 振り返りの観点 変容 深化 広がり 発見 理解 できた！ 交流 伝え合い その他 () | 振り返りの観点 変容 深化 広がり 発見 理解 できた！ 交流 伝え合い その他 () | 振り返りの観点 変容 深化 広がり 発見 理解 できた！ 交流 伝え合い その他 () | 振り返りの観点 変容 深化 広がり 発見 理解 できた！ 交流 伝え合い その他 () |

3 本時の学習

(1) 目標

「千年の釘にいどむ」の推薦アイテムを読み合い、視点の多様さに気付くことができる。(読むこと)

(2) 展開【 3時間目 / 5時間扱】

* 思考アクティブ化シートB—③【活用重視】

| | 児童の活動 | 思考 | □教師の働きかけ ◎主な発問 ◆評価(評価方法) ☆思考を活性化させるアクティブ化ポイント |
|--|---|-----------|--|
| 導入 2分 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時までを振り返る。 ・ <u>読書の魅力を見付けるために、おすすめアイテムを作っている。</u> ・ アイテム⇒ポップ、帯、ポスター等 ・ 技⇒引用、キャッチコピー ・ 「千年の釘にいどむ」で実践した。 ○ 本時の学習課題を確認する。 | 全 | <ul style="list-style-type: none"> □ 単元の学習計画を掲示しておく。 ☆ 「読書の新しい魅力を見付ける」というねらいを再確認することで、ゴールイメージを明確にもつことができる。 【思B③-①】<S⑩見通す> |
| <p>「千年の釘にいどむ」のアイテムを読み合い、読書のみ力を見つけよう。</p> | | | |
| 展開 18分 | <ul style="list-style-type: none"> ○ アイテムを読み合って、感想をもつ。 ・ 班で、おすすめアイテムを読み合う。 <アイテムを読む観点> ×… アイテムのできばえ(例:色づかい、形、丁寧さ等) ○… 書き方・内容面(例:推薦文の工夫、引用文の使い方、キャッチフレーズの添え方等) 自分のアイテムとの比較 ・ 1分で読む→2分でメモを繰り返し、班全員のアイテムを読む。 | グループ 個 | <ul style="list-style-type: none"> □ 班で「千年の釘にいどむ」の『おすすめアイテム』を読み合わせる。 ◎ 友達のアイテムを読んで、気づいたことをメモします。読む時の観点を確認します。 ☆ 観点を定めてアイテムを読ませることで、友達の考えに触れ、同じ対象でも多様な視点で読むことができることに気付くことができる。【思B③-⑦】<S①多面的に見る> |
| 展開 7分 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 読み比べて気付いたことを話し合う。 ・ メモをもとに、互いに質問して、作者の意図や思いを知る。 ・ 読み比べて、互いの同異点について話し合う。(仲間分けをしてもよい) ○ それぞれのアイテムを、注目したところによって仲間分けできることを知る。(視点による分類) ○ 班で話し合ったことを発表し、1つの本でも読み方が多様で、視点が似ていたり、異なったりすることを知る。 * 「人」に注目した人もいるし「伝統」に注目した人もいた。 * キャッチコピーがみんな違って面白かった。 * 引用文が同じ人がいて、親近感がわいた。 | グループ | <ul style="list-style-type: none"> □ 班で、アイテムを読み合った感想を交流し、活動を通して気付いたことをまとめさせる。 ◎ 班で、読み合った感想を交流します。確認したいことがあれば、作者に質問してください。 □ 全体交流し、「同異点の存在」「視点の多様さ」に気付かせる。 ◎ 同じ話でしたが、アイテムを読むと、同じ所だけではなく、違う所がありました。読む人によって目の付け所が違うからです。これを『視点』と言います。 |
| <p>同じ本でも、読む人によって、いろいろな視点がある。←読書のみ力</p> | | | |
| 展開 5分 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分のおすすめする本をどういった観点で、どういったアイテムを使っておすすめすることで、「読書の魅力」が伝えられるか考える。 | 個 | <ul style="list-style-type: none"> ◎ 自分のおすすめしたい本の魅力を、そして、読書の魅力を伝えるには、どういった観点で、どういったアイテムを作るか考えましょう。 |

| | | | |
|----------|---|---|---|
| 終末 5分 | <p>○ 学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> パフォーマンスシートに、自分の達成レベルと振り返りを書く。 | 全 | <p>【知・理】 作ったアイテムを読み合い、視点の多様さに気付いている。(ノート・発表)</p> |
|----------|---|---|---|

(3) 評価

【読むこと】

◇ 評価規準の具体 (評価方法：ノート，発表)

大いに満足できる (AA)： 読書の違いによる見方の多様さを知り、それに触れて、考えが広がったり、変容したりすることを実感する。

十分に満足できる (A)： 読み比べることで、作品の内容に同異点があり、読者の違いによる、見方の多様さに気づく。

おおむね満足できる (B)： アイテムを読み比べて、同異点があることに気づく。

努力を要する児童への指導： アイテムを作った友達に質問したり、一言感想を書いたりさせる。

(4) 板書計画

⑦

本は友達

『千年の釘にいとむ』のアイテムを読み合い、読書のみ力を見つけよう。

〈アイテムを読み合おう〉

① 一作品一分で読む。

② 感想や気づきを二分で書く。

③ 人数分くり返し。

〈観点〉 × 「できばえ」

色づかい、形、ていねいさ

○ 「内容」

文章がわかりやすい
引用文の使い方がいい
キャッチフレーズがうまい
好きなどころがわかる など

④ 読み比べて気づいたことを交流する。

〈気づいたこと〉

- ・ 「人」に注目した人もいるし「伝統」に注目した人もいた。
- ・ キャッチコピーがみんな違って面白かった。
- ・ 引用文が同じ人がいてうれしい。
- ・ 人の考えを知ることができた

同じ本でも、読む人によって、いろいろな見方||視点がある。

↑ 読書のみ力